

第九

特別演奏会 2024

チケット料金 (全席指定・消費税込)

S ¥9,500 A ¥8,000 B ¥7,000 C ¥6,000

Ys (25歳以下) ¥4,000 Gs (70歳以上) ¥6,000

【お申込み】 (12/21除く)

日本フィル・サービスセンター ☎ 03-5378-5911 (平日 10時~17時)

日本フィル e チケット♪ <https://eticket.japanphil.or.jp>

本日
会場での購入
で200円
OFF!

指揮

下野竜也



© Nanako Ito

- ◆12月15日 日 14:00 サントリーホール
- ◆12月21日 土 17:00 横浜みなとみらいホール
[第403回横浜定期演奏会]

ソプラノ: 富平安希子 ×ソソプラノ: 小泉詠子

テノール: 糸賀修平 バリトン: 宮本益光

合唱: 日本フィルハーモニー協会合唱団 (12/15)、
東京音楽大学 (12/21)

ニコライ: 歌劇《ウインザーの陽気な女房たち》序曲

ベートーヴェン: 交響曲第9番《合唱》

指揮

小林研一郎

[桂冠名誉指揮者]



© 山本倫子

- ◆12月22日 日 14:00 サントリーホール 残席僅少
- ◆12月25日 水 19:00 ミューザ川崎シンフォニーホール
- ◆12月26日 木 19:00 昭和女子大学 人見記念講堂
- ◆12月27日 金 19:00 東京オペラシティコンサートホール
- ◆12月28日 土 14:30 横浜みなとみらいホール

ソプラノ: 小川菜奈 (12/22-26)、市原 愛 (12/27, 28)

メソソプラノ: 山下牧子

テノール: 錦織 健 (12/22-26)、笛田博昭 (12/27, 28)

バリトン: 青山 貴

合唱: 東京音楽大学 (12/22, 25)、武蔵野合唱団 (12/26)、
日本フィルハーモニー協会合唱団 (12/27, 28)

プログラム: コラール前奏曲《わが心の切なる喜び》

J.S. バッハ: クリスマスコラール《甘き喜びのうちに》BWV608

J.S. バッハ: トッカータとフーガ ニ短調 BWV565 以上3曲オルガン独奏: 石丸由佳 (12/22, 25, 27, 28)

J.S. バッハ: 無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番「シャコンヌ」 ヴァイオリン独奏: 木野雅之 (12/26)

ベートーヴェン: 交響曲第9番《合唱》



人、音楽、自然—日本フィルのテーマです。

JAPAN
PHILHARMONIC
ORCHESTRA

— 創立指揮者 渡邊 暁雄 —

日本フィルハーモニー交響楽団
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

第401回

横浜定期演奏会

401st YOKOHAMA Subscription Concert

2024年10月5日(土) 午後5時開演

横浜みなとみらいホール

5:00pm October 5th(Sat.), 2024, at Yokohama Minato Mirai Hall



主催: 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

後援: 神奈川新聞社、+vkk

協力: 横浜みなとみらいホール

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会



文化庁

日本フィル 公式SNS

インスタ始めました



演奏会のハイライト動画や
カッコいいメンバーの
映え写真！



リハーサルの様子など
日本フィルの活動を
毎日発信！！



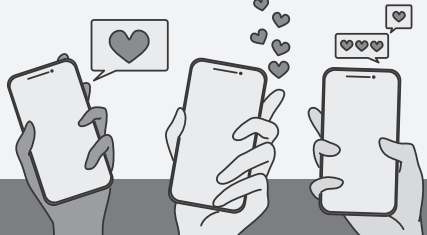
お得な情報をタイ
ムリーにお届け



【2分でわかる大人のための
オーケストラ入門Plus+】
演奏会が何倍も楽しく！

登録お願いします！

日本フィルをもっと知ろう！



「輝け!アジアの星☆」第12弾。若きアーティストの競演

話題の指揮者・出口大地が日本フィル公演初登場です。全国のオーケストラから注目を集める出口のユニークな音楽性を今こそ体験してください。プログラムは、まずアルメニアが生んだ大作曲家ハチャトゥリアンの名前を冠したコンクールで優勝を果たした彼の名刺代わりとして、バレエ音楽《スパルタクス》から美しい一曲を。他にも組曲《展覧会の絵》をメインにロシア系音楽の数々をお聴きいただきます。ソリストにはウィーンで生まれ、ベルリンで学ぶ若手注目株・鳥羽咲音を迎えます。チャイコフスキーの名作「ロココ風の主題による変奏曲」では、若々しい生命力あふれた演奏を聴かせてくれることでしょう。

Programs

ハチャトゥリアン：

バレエ音楽《スパルタクス》より

「スパルタクスとフリーギアのアダージョ」(約9分)

Aram KHACHATURIAN: 'Adagio of Spartacus and Phrygia' from "Spartacus"

カバレフスキー：組曲《道化師》op.26 (約16分)

Dmitri KABALEVSKY: Suite "The Comedians", op.26

チャイコフスキー：

ロココ風の主題による変奏曲 イ長調 op.33 (約18分)

Pyotr TCHAIKOVSKY: Variations on a Rococo Theme in A-major, op.33

—— 休憩 (15分) Intermission ——

ムソルグスキー (ラヴェル編曲)：組曲《展覧会の絵》(約32分)

Modest MUSSORGSKY (Arr. by Maurice RAVEL): Suite "Pictures at an Exhibition"

指揮：出口大地 Conductor: DEGUCHI Daichi

チェロ：鳥羽咲音 Violoncello: TOBA Sakura

コンサートマスター：扇谷泰朋 [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]
Concertmaster: OGITANI Yasutomo, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ：門脇大樹 [日本フィル・ソロ・チェロ]
Solo Violoncello: KADOWAKI Hiroki, JPO Solo Violoncello

©hiro.pberg berlin



指揮：出口大地

第17回ハチャトゥリアン国際コンクール指揮部門にて日本人初の優勝。クーセヴィツキー国際指揮者コンクール最高位及びオーケストラ特別賞。2021年にはベルリン放送交響楽団の公演にてヴラディーミル・ユロフスキ氏のアシスタントを務める。

ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、アルメニア国立交響楽団等の指揮を経て、22年7月、東京フィルハーモニー交響楽団定期演奏会にて日本デビューを飾る。その後京都市響、読売日本響、仙台フィル、日本センチュリー響、群馬響、神戸室内管、新日本フィル、東京都響、兵庫芸術文化センター管、大阪フィル、東京響、神奈川フィル、大阪響と立て続けに共演し、今後も日本各地のオーケストラへのデビューが決定している。24年9月からの1年間、リエージュ王立フィルハーモニー管弦楽団のアシスタントコンダクターに選任された。

大阪府豊中市生まれ。関西学院大学法学部卒業後、東京音楽大学作曲指揮専攻(指揮)卒業。23年3月ハンスアイスラー音楽大学ベルリンオーケストラ指揮科修士課程修了。指揮を広上淳一、田代俊文、三河正典、下野竜也、クリスティアン・エーヴァルト、オペラ指揮をハンス・ディーター・バウムの各氏に師事。またネーメ、パーヴォ、クリスティアン・ヤルヴィ、ドナルド・ラニクルズ、ヨハネス・シュレーフリ、井上道義、沼尻竜典各氏らのマスタークラスにオーディションを経て招待され、薫陶を受ける。

公式ホームページ <https://daichideguchi.wixsite.com/daichideguchi>

©Julia Wesely



チェロ：鳥羽咲音

2005年、音楽家の両親のもと、ウィーンで生まれる。現在19歳。

18年、モスクワ若い音楽家のためのコンクール「くるみ割り人形」弦楽器部門で銅賞を受賞するなど、数多くのコンクールで入賞、優勝。

19年3月に初のソロ・リサイタルを開催し、10月には沼尻竜典指揮/日本フィルとの共演でチャイコフスキー「ロココの主題による変奏曲」をサントリーホールで演奏。以後、原田幸一郎、大友直人、広上淳一、大井剛史、山田和樹、太田弦らの指揮のもと、読響、群馬響、横浜シフォニエッタ、富士山静岡響、広島響と共演し、また東京・春・音楽祭をはじめ様々な場でのリサイタルなど、幅広く活躍している。

19年には世界に挑む若い音楽家とアスリートに贈られる第2回「服部真二音楽賞」を受賞した。

使用楽器はアンネ＝ゾフィー・ムター財団より貸与された1840年製のジャン＝バティスト・ヴィヨーム。23年にはMutter's Virtuosiのメンバーとしてヨーロッパツアーに参加した。

6歳から毛利伯郎氏に師事。アントニオ・メネセスやダーヴィド・ゲリンガス、イェンス＝ペーター・マインツの各氏のマスタークラスにも参加した。

公益財団法人江副記念リクルート財団第50回(21年)奨学生および、公益財団法人ロームミュージックファンデーション21、22年度奨学生。22年よりベルリン芸術大学にてマインツ氏に師事。

公式ホームページ <https://www.sakuratoba.com/>

この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムをご用意しております。ご希望の方は主催受付までお申し出ください。

●お客様へのお願い●

演奏中はお手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。手荷物、傘、チラン類などの物音、話し声や体の動きなどで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、演奏中の写真撮影は固くお断りしております。



小宮正安の
オーケストラ
ガイド

今日のコンサートの聴きどころは？

ヨーロッパ文化史研究家小宮正安さんの
面白解説をお楽しみください！

16時20分
より
大ホール内
にて♪



小宮正安(こみや まさやす) ●ヨーロッパ文化史・ドイツ文学研究家。横浜国立大学(大学院都市イノベーション学府・都市科学部)教授。著書に『コンスタンツェ・モーツァルト(悪妻)伝説の虚実』(講談社選書メチエ)、『名曲誕生 時代が生んだクラシック音楽』(山川出版社)、『音楽史 影の仕掛人』『オーケストラの文明史 ヨーロッパ3000年の夢』(春秋社)、『モーツァルトを「造った」男 ケッヘルと同時代のウィーン』(講談社現代新書)、『愉悦の蒐集 ヴンダーカンマーの謎』(集英社新書)など多数。『ウィーンフィル・ニューイヤーコンサート』でのコメンテーターをはじめテレビやラジオへの出演、『東京・春・音楽祭』でのナビゲーターなど、幅広い分野で活躍している。

ハチャトゥリアン：

バレエ音楽《スパルタクス》より「スパルタクスとフリーギアのアダージョ」

ジョージア的首都トビリシで、アルメニア人の家系に生まれたアラム・ハチャトゥリアン（1903-78）。彼は民族音楽に親しみながら育ち、モスクワの音楽大学で作曲をニコライ・ミャスコフスキーなどに学んだ。

バレエ《スパルタクス》は1956年の作品。古代ローマの時代、トラキアの戦士スパルタクスがローマに反乱を起こした実話に、様々な脚色を加えた筋書となっている。中でも、スパルタクス最愛の妻フリーギアとともに自由の身になったことを喜び踊られるのが、ひと際美しい「アダージョ」だ。ただし、スパルタクス自身はやがて追われる身となり、最後には敵の前に殺されてしまうという悲劇が待ち受けているのだが…。

なおジョージアは18世紀以降ロシア帝国に編入されたり、20世紀にはソビエト連邦に加盟したりと、ハチャトゥリアンの生前には大国ロシアの絶対的な影響下に置かれていた。そんな小国の悲劇もどこかで彷彿させる内容である。

楽器編成 フルート3（ピッコロ持替1）、オーボエ2、イングリッシュ・ホルン1、クラリネット3（バス・クラリネット持替1）、ファゴット2、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、チューバ1、ティンパニ1、大太鼓、小太鼓、シンバル、銅鑼、ハープ1、ピアノ1、弦楽5部。

カバレフスキー：組曲《道化師》op.26

ドミトリー・カバレフスキー（1904-87）は、同時代のロシアの作曲家の中でも、子供のための作品を数多く書いた作曲家である。そんな彼は、1938年頃、ダニエリ・Mの児童劇『発明家と道化役者』のために、全16曲からなる劇付随音楽を作曲。その中から10曲を選び管弦楽のための組曲《道化師》とした。カバレフスキーの作品の中でも最も有名な作品となっている。

第1曲「プロローグ」、第2曲「ギャロップ」、第3曲「行進曲」、第4曲「ワルツ」、
第5曲「パントマイム」、第6曲「間奏曲」、第7曲「叙情的小シーン」、第8曲「ガヴォット」、
第9曲「スケルツォ」、第10曲「エピローグ」

楽器編成 フルート1（ピッコロ持替1）、オーボエ1（イングリッシュ・ホルン持替1）、クラリネット2、ファゴット1、ホルン2、トランペット2、トロンボーン1、チューバ1、ティンパニ1、大太鼓、小太鼓、シンバル、トライアングル、シロフォン、タンブリン、ピアノ1、弦楽5部。

チャイコフスキー：ロココ風の主題による変奏曲 イ長調 op.33

ピョートル・チャイコフスキー（1840-93）がこの曲を作曲したのは、彼の友人で1870年以来モスクワ音楽院の教授を務めていたドイツ人の名チェロ奏者ヴィルヘルム・フィッツェンハーゲンに献呈するため。フィッツェンハーゲンは1877年にモスクワでこの曲を初演し、さらにまた1879年にドイツのヴィスバーデンで再演をおこなった。そしてこのヴィスバーデンでの演奏が大好評を博し、この曲は急速にヨーロッパ各国に知られるようになってゆく。

チャイコフスキーは、モーツァルトをはじめ18世紀の音楽、さらには18世紀の音楽様式の

ひとつであるロココ的な主題に強い関心を持っていた。当時18世紀の音楽は、ともすれば貴族趣味の軟弱な音楽として、過小評価されることが多かったのだが、チャイコフスキーはむしろその時代の音楽に着目することで、自身の創作の幅を広げてゆこうとしたのである。

この作品に用いられた主題は、チャイコフスキー自身の手によるものと考えられている。優美な序章に続いて16小節の主題が独奏チェロに現れ、それが熟達した管弦楽法に支えられた多様な変化と、チェロの技巧との見事な融合・統一の中で情緒たっぷりに変奏されていく。しかもフィッツェンハーゲンは初演時以来、原曲にかなり修正を加え、たとえば原曲は主題部と8つの変奏からなるが、フィッツェンハーゲン加筆版では7つの変奏からできている。他にも、変奏の曲順も入れ替えている。

本日の演奏は、フィッツェンハーゲン修正版で演奏されるが、原典版とどちらで演奏されるか、それも含めて、魅力のつきない作品である。

楽器編成 独奏チェロ、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン2、弦楽5部。

ムソルグスキー（ラヴェル編曲）：組曲《展覧会の絵》

ロシア伝来の音楽と、西欧の音楽との融合を目指した「ロシア5人組」のひとり、モデスト・ムソルグスキー（1839-81）。彼の作品の中でも特に有名な組曲《展覧会の絵》は、元々ピアノ独奏曲だったが、その色彩豊かな音楽ゆえに、第三者による幾つものオーケストラ編曲版によって広く知られている。

中でも、演奏される機会が多いのが、「管弦楽の魔術師」と呼ばれる、フランスのモーリス・ラヴェルによる版。この編曲版は、1922年にラヴェルがボストン交響楽団の指揮者、セルゲイ・クーセヴィツキーからの依頼を受けて完成したものである。

作品は、ムソルグスキーの友人の建築士ヴィクトル・ハルトマンを追悼する遺作絵画展（1874年）の印象に基づいて作曲された。31歳の若さで逝ったこの天才建築家にして画家の展覧会に強い印象を受けたムソルグスキーは、特に感銘深かった10点の絵画（油彩や水彩、衣裳デザイン、建築設計イメージ画など）を選んで組曲の標題とした。そして個々に独立した絵画を一連の組曲として統一づけるために、「プロムナード（そぞろ歩き）」と呼ばれる移行部分を作曲し、一点一点の絵画の前を通り過ぎるムソルグスキー自身の心象の移り変わりを表現している。しかもこの「プロムナード」は、単なる繋ぎではなく、特に後半部分になると、絵画を描いた曲自体にも出現し、ハルトマンへの強烈な追悼が示されてゆく。

ラヴェル編曲版の構成は、以下のようになっている（ラヴェル自身、ムソルグスキーの原曲の構成を少しだけ変更している）。

プロムナード～「こびと」～プロムナード～「古城」～プロムナード～「テュイルリー宮殿の前庭」～「ビドロ」～プロムナード～「殻をつけた雛の踊り」～「サミュエル・ゴールデンベルクとシュミュイレ」～「リモージュの市場」～「カタコンブ/死者とともに死者の言葉で」～「バーバヤガー（鶏の足の上に立つ魔法の小屋）」～「キエフ（キーウ）の大門」

楽器編成 フルート3（ピッコロ持替2）、オーボエ3（イングリッシュ・ホルン持替1）、クラリネット2、バス・クラリネット1、アルト・サクソフォン1、ファゴット2、コントラ・ファゴット1、ホルン4、トランペット3、トロンボーン2、バス・トロンボーン1、チューバ1、ティンパニ1、大太鼓、小太鼓、シンバル、トライアングル、銅鑼、グロックンシュピール、鐘、ラチェット、鞭、シロフォン、ハープ2、チェレスタ1、弦楽5部。



歴史でひもとく! ~クラシックこぼれ話 by 小宮正安



「編曲」をめぐるあれこれ

本日の演奏曲目を見ると、あるキーワードが浮かび上がる。「編曲」だ。
ムソルグスキーによるピアノ独奏版の原曲を、ラヴェルが管弦楽用に編曲した『展覧会の絵』だけに限らない。ハチャトゥリアンの『スパルタクス』にしても、カバレフスキーの『道化師』にしても、元々は管弦楽のために書かれているものが、例えばピアノ独奏用に編曲され、ピアノで弾かれる場合も多い。

管弦楽作品やオペラといった大規模な編成の作品を、ピアノ独奏をはじめ、室内楽編成に編曲する…。これは、現在のように音楽を再生する技術が存在しなかった昔には、しばしばおこなわれていた。つまり、劇場や演奏会で耳にした曲を是非何度でも経験したい、あるいはそうした場所に足を運べなかった場合でも話題の曲を知りたい。そんなニーズに応え、家庭でもこれらの曲を再現できるよう、楽譜出版社が、編曲物を次々と世に送り出した。しかも実際の編曲作業にあたったのは、往々にして作曲者本人ではなく、出版社と契約をした第三者だった。

現在のように著作権がうるさくなく、また作曲家の書いた楽譜のみを聖典のように崇める風潮が弱かったからこそその状況だろう。また逆にそうであるがゆえに、チャイコフスキーが作曲した『ロココの主題による変奏曲』を、自分の思うままに改訂してしまうフィッツェンハーゲンのような演奏者も出現することとなる。しかも、フィッツェンハーゲンがこの作品を、いわば「編曲」した理由は、そちらのほうが演奏効果が上がるから、という好意的な動機ゆえのことだった。そしてこのような、演奏者目線の「編曲」作業もまた、特に19世紀までは様々な作曲家の原曲に施されたものだった。

もちろんフィッツェンハーゲンの行為を否定的に捉えるならば、「改竄」になるだろう。だがそれを言うのであれば、ラヴェルが編曲した『展覧会の絵』においても、原曲の強弱や表現指示が自由自在に変更されている他、原曲に書かれていた「プロムナード」の1つがばっさり切り落とされてさえている。

そのことを、私たちはどう受け止めるのか? 20世紀に一時代を風靡した「原典史上主義」もひと段落した今、多様な管弦楽の響きに身を委ねながら考えをめぐらすのも一興かもしれない。



ヴェルヘルム・フィッツェンハーゲン (1848-90) のポートレート

Next YOKOHAMA

第402回 横浜定期演奏会

2024年11月23日 (土・祝) 17:00
横浜みなとみらいホール

指揮: **ピエタリ・インキネン**

ヴァイオリン: **神尾真由子**

16:20 ~
八木宏之氏による
オーケストラガイド♪

グランドピアノ:

ヴァイオリン協奏曲 イ短調 op.82

R. シュトラウス:

アルプス交響曲 TrV233 op.64

S席 ¥9,000 A席 ¥7,500 B席 ¥6,500 C席 ¥5,500
P席 完売 Ys席 ¥2,000

※ Ys: 25歳以下の方が対象のお席です。S席以外から選べます。

©Mechtild Schneider



ピエタリ・インキネン

©Makoto Kamiya



神尾真由子

日本フィル & サントリーホール にじくら ~トークと笑顔と、音楽と 第6回

2025年1月29日 (水) 14:00

サントリーホール

指揮: **園田隆一郎** ギター: **村治佳織**

ナビゲーター: **高橋克典**

オルガン: **勝山雅世**

♪オルガン・ブレ・コンサート 13:40 ~

©Fabio Parenzan



園田隆一郎

©Kazumi Kiuchi



村治佳織

ロドリゴ: **アランフェス協奏曲**

サン=サーンス: **交響曲第3番《オルガン付き》**

ハ短調 作品78

10/23
一般発売

S席 ¥5,800 A席 ¥3,800 S席ペア ¥11,000 (S席×2枚)



高橋克典

■日本フィル YouTube「2分でわかる!大人のためのオーケストラ入門」スタート

あの名曲の、あの作曲家の、あの楽器の…知っていれば演奏会が10倍楽しくなるお話。見れば演奏会に行ってみたくなる、さまざまなオーケストラの楽しみ方を2分に凝縮!!

公式 X (Twitter) とインスタグラムでは2分バージョンを。YouTubeではさらに詳しく演奏映像もたっぷりお届けしています。



■福島県と包括連携協定を締結

日本フィルは東日本大震災の発災以降、東北地方沿岸の被災地に音楽を届ける「被災地に音楽を」の活動を13年間で349回*実施してきました>(*締結時)

2019年からは、東北地方の更なる復興の後押しを目指して、東北各地で郷土芸能や学校文化(音楽や芸能など)に励む子どもたちを招き、その笑顔と未来、夢を応援する「東北の夢プロジェクト」を岩手県で開始しました。福島県でも2020年から予定していましたが、コロナ禍と地震による影響により、ようやく2023年に開催にこぎつけ、今年も8月11日に実施。また、現在も、沿岸の被災地や原発事故による避難解除地域での活動も継続しており、2021年にはこうした活動への高い評価により第16回後藤新平賞を受賞いたしました。

福島県との包括連携協定締結を契機に日本フィルは東北地方の更なる復興の後押しを目指すとともに、地域の文化芸術振興やコミュニティの活性化、子どもたちの健全な育成など、様々な取り組みを推進していきます。

■テレビ番組レギュラー出演のお知らせ

日本フィルがBSに。指揮者が語るミニ番組!『Welcome クラシック』BS朝日 毎週水曜日 22:54~23:00(第3週、第4週は再放送)。ぜひご覧ください!

■本日の公演は終演時のカーテンコールでの写真撮影が可能です。

携帯電話・スマートフォン付属のカメラで着席のまま撮影をお願いいたします。フラッシュ、動画撮影はお控えください。詳しくは会場の掲示をご覧ください。

◆定期会員券ご寄付のお願い◆ お客様のご都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

- 公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。●会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただけます様ご協力をお願いいたします。
- ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送いたします。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願いいたします。

日本フィル・サービスセンター
〒166-0011
東京都杉並区梅里1-6-1

TEL: 03-5378-5911 (平日10時~17時)
FAX: 03-5378-6161 (24時間)
e-mail: order-ticket@japanphil.or.jp

横浜定期会員の特典

横浜ベイホテル東急(横浜みなとみらいホール向かい)にて、メンバーズ優待を行っております。

飲食: 下記店舗で、飲食料金が10%OFFとなります。(4名様まで) ※除外日および対象外メニューあり

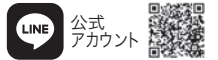
オールデイダイニング「カフェ トスカ」/ラウンジ「ソマーハウス」/日本料理「大志満」
中国料理「スーツァンレストラン陳」

※会計時に横浜定期会員券をご提示ください。※この割引は日本フィルのコンサート開催日以外にも有効です。
※指定以外の店舗、および宴会は対象外ですのでご了承ください。※他の特典・割引との併用はいたしかねます。

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 (1956年6月創立)

- 創立指揮者/渡邊暁雄
- 桂冠名誉指揮者/小林研一郎
- 名誉指揮者/ルカーチ・エルヴィン
- 名誉指揮者/ジェームズ・ロッドラン
- 客員首席指揮者/ネーメ・ヤルヴィ
- 首席指揮者/カーチュン・ウォン
- 桂冠指揮者兼芸術顧問/アレクサンドル・ラザレフ
- フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)/広上淳一

公式 X (元 Twitter)
@Japanphil



<p>ソロ・コンサートマスター 扇谷泰朋 木野雅之 田野倉雅秋</p> <p>アシスタント・コンサートマスター 千葉清加</p> <p>第1ヴァイオリン 伊藤太郎 太田麻衣 九鬼明子 齋藤政和 柳 渚 竹歳夏鈴 谷崎大起 田村昭博 中谷郁子 西村優子 井井幸子 本田純一</p> <p>第2ヴァイオリン 遠藤直子 大貫聖子 岡田紗弓 加藤祐一 神尾あずさ 川口 貴 佐藤駿一郎 末廣紗弓 豊田早織 町田 匡 松川葉月 山田千秋 ヴィオラ</p> <p>☆安達真理 江藤史織 小俣由佳 小中澤基道 児仁井かおり 高橋智史 中川裕美子 中溝とも子 松澤雅奈</p>	<p>ソロ・チェロ 門脇大樹 菊地知也</p> <p>チェロ 石崎美雨 伊堂寺 聡 江原 望 大澤哲弥 久保公人 山田智樹</p> <p>コントラバス ◎高山智仁 ◎鈴木優介 成澤美紀 宮坂典幸 森田麻友美 山口雅之</p> <p>フルート ◎真鍋恵子 齋藤光晴 難波 薫 オーボエ ◎杉原由希子 ◎松岡裕雅 佐竹真登</p> <p>クラリネット ◎伊藤寛隆 ◎楠木 慶 照沼夢輝 堂面宏起</p> <p>ファゴット ◎田吉佑久子 ◎鈴木一志 大内秀介 中川日出鷹</p> <p>ホルン ◎丸山 勉 ◎信末碩才 伊藤 舜 宇田紀夫 原川翔太郎 村中美菜</p>	<p>ソロ・トランペット オッタビアーノ・クリストフオリ</p> <p>トランペット ◎大西敏幸 犬飼伸紀 中里州宏 中務朋子 星野 究</p> <p>トロンボーン ◎伊藤雄太 笠間勇登</p> <p>バス・トロンボーン 中根幹太</p> <p>チューバ 柳生和夫</p> <p>ティンパニ ◎エリック・バケラ</p> <p>池田健太</p> <p>パーカッション 大河原 渉</p> <p>ハーブ 松井久子</p> <p>楽団長 星野 究</p> <p>チーフステージマネージャー 阿部紋子</p> <p>ステージスタッフ 長橋健太 森田大翔</p> <p>チーフインスペクター 佐藤駿一郎</p> <p>インスペクター 宇田紀夫 鈴木優介 谷崎大起</p> <p>ライブラリアン 鬼頭さやか 杉本哲也</p> <p>◎首席奏者 ◎副首席奏者 ☆客演首席奏者 □試用期間</p>	<p>理事長(代表理事) 平井俊邦</p> <p>副理事長(代表理事) 五味康昌</p> <p>専務理事(代表理事) 福井英次</p> <p>常務理事(代表理事) 後藤朋俊</p> <p>理事 石井啓一郎 石塚邦雄 佐々木経世 田村浩章 戸所邦弘 中根幹太 葉田順治 福本ともみ</p> <p>監事 上條貞夫 福澤宏哉</p> <p>評議員会会長 加藤丈夫</p> <p>評議員 青井 浩 安孫子 正 荒藤康一郎 石村 等 稲垣 尚 内川清雄 大塚宣夫 海堀周造 梶浦卓一 河北博文</p> <p>喜多崇介 木村恵司 久保田 隆 小林研一郎 島田精一 津田義久 西澤 豊 野間省伸 福満一夫 村上典史子 山口多賀幸</p>	<p>名誉顧問 熊谷直彦 島田晴雄 田邊 稔</p> <p>コミュニケーション・ディレクター マイケル・スペンサー</p> <p>マネジメント・スタッフ 浅見浩司 磯部一史 江原陽子 及川ひろか 小川紗智子 萩島里帆 賀澤美和 柏熊由紀子 小須田萌 佐々木文雄 澤田智夫 篠崎めぐみ 杉山綾子 杉山まどか 高橋勇人 田中正彦 樋谷祐子 中村沙緒里 西田大輔 西田真菜 長谷川珠子 藤田千明 藤村益江 別府一樹 益満行裕 宗澤晶子 山岸淳子 吉岡浩子 シニア・パートナー 新井康允 伊波 睦 永島義郎 南部洋一</p>	<p>団友 青柳哲夫 青山 均 赤堀泰江 新井豊治 石井啓一郎 伊藤恒男 伊波 睦 遠藤 功 遠藤剛史 大石 修 大川内 弘 寛 美知子 金本順子 蒲谷隆行 川口和宏 菊田秋一 岸良開成 吉川利幸 木村正伸 小林俊夫 小山 清 斎藤千種 佐々木裕司 佐藤玲子 菅原 光 高木裕子 高木雄司 高木 洋 高倉理実 田沢 烈 立川和男 藤田千明 富樫尚代 豊田尚生 中川二朗 永田健一 中務幸彦 奈切敏郎 橋本 洋 畑井紀代子 平賀法子 福島喜裕 松本克己 松本伸二 三宮武郎 三好明子 森 茂 山下進三 山科淑子 渡辺哲雄</p>
--	--	--	---	--	---